

有機農業

農薬・化学肥料の不使用・使用低減

温室効果ガスの削減・吸収

スマート農業省力化技術

食品ロス削減

国産、地場産の供給拡大

その他

きょうあさ農園（埼玉県所沢市）



【生産概要】（令和6年産）

経営面積：1.7ha

栽培品目：ブロッコリー、ほうれんそう、サニーレタス、なす、きゅうり、さつまいも、長ねぎ

【経営概要】 2022年4月就農、労働力は本人と妻

2022年3月 家族経営協定締結

代表者：西小野 恭平

【販売概要】 ファームドウ株式会社（食の駅）、学校給食、農家仲間が立ち上げた卸

■取組の特徴

- ・農薬・化学肥料の不使用又は農薬使用5割減で栽培。

■取組のきっかけ

- ・前職の管理栄養士、調理師の経験から、料理の味は素材の質で大部分が決まることを実感し、自ら生産することを決意した。また、栄養士の資格を持つ妻も食物への思いが同じで、夫婦で認定新規就農者になった。

■取組のメリット

- ・農薬・化学肥料の不使用の場合は、2割程度高く販売できる上、販売も好調である。

■工夫している点

- ・土づくりとして、全農地で年1回緑肥を栽培してすき込んだ上で、市販の牛糞や鶏糞の堆肥を投入している。また、一作ごとの始めと終わりに環境浄化微生物の「えひめAI-2」を撒いている。

■今後取り組みたいこと

- ・将来的には、学校給食をメインの販売先としていきたい。また、カットブロッコリーなどの野菜の加工や野菜スイーツにも取り組みたい。

事務所所在地：埼玉県所沢市所沢新町